

QI指標 ⑦24時間以内の再手術率

⑧特定術式における手術開始前1時間以内の

予防的抗菌薬投与率 について紹介します！！

○24時間以内の再手術率○

手術終了後、24時間以内に予定されていない手術が行われた割合を示しています。再手術になってしまう原因としては、合併症が発生した場合や患者様の状態によってなど様々です。手術内容を評価・検証し、質向上に努めていかなければなりません。

○特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率○

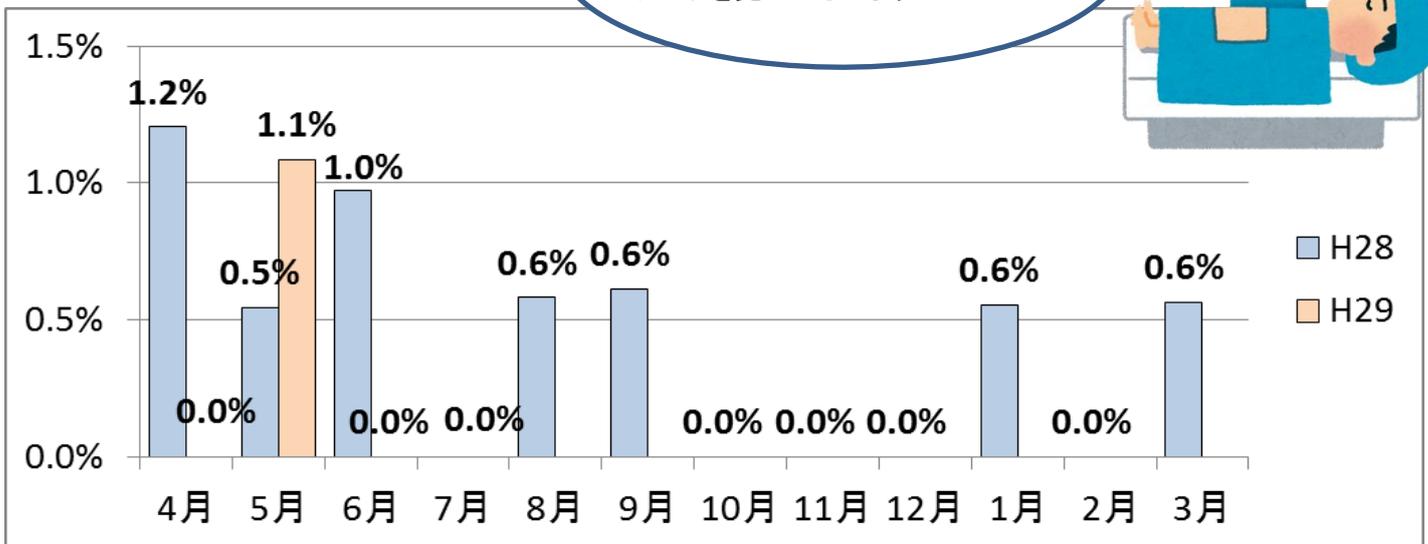
注1※特定術式における手術前1時間以内に抗菌薬投与が開始された割合を示しています。手術後、手術部位に感染が発生すると、入院期間の延長や入院医療費の増大につながります。感染を予防する対策の一つに手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、血液や組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで感染を予防できる可能性が高まります。

注1※特定術式:冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術

では、今回取り上げた2つの指標の
H28年度データとH29年4月・5月・6月
データを見てみましょう！



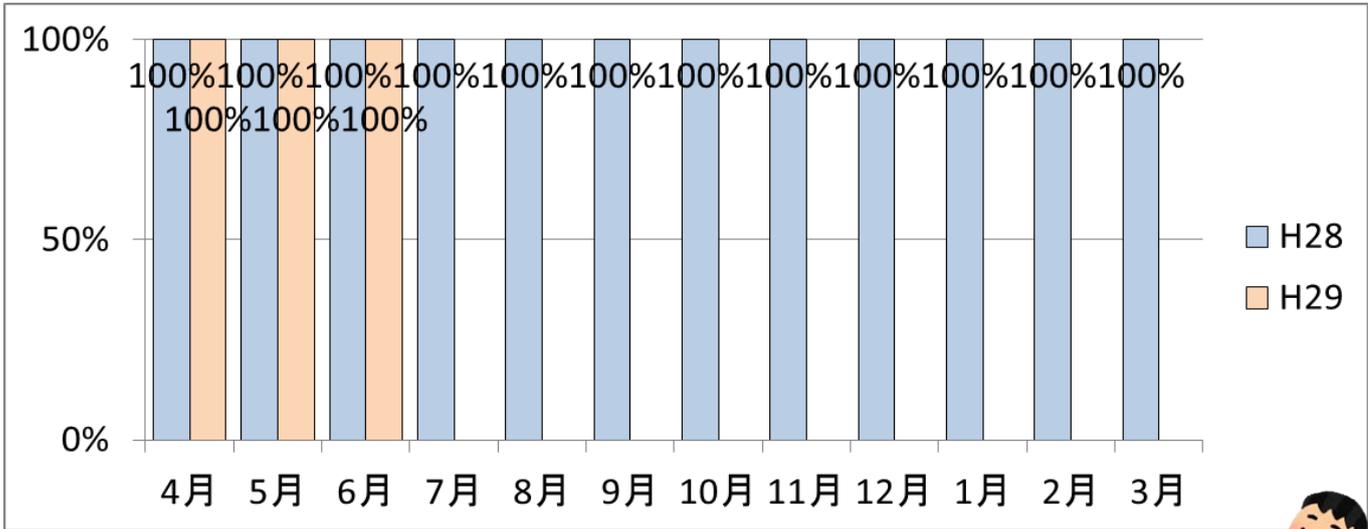
○24時間以内の再手術率○



〈計算式〉 $\frac{\text{予定外の再手術件数}}{\text{手術件数}}$

	4月		5月		6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28								
分子	2	0	1	2	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
分母	166	180	183	184	206	170	162	172	163	152	170	152	180	162	177
再手術率(%)	1.2%	0.0%	0.5%	1.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%

○特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率○



〈計算式〉 $\frac{\text{手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された退院患者数}}{\text{特定術式の手術を受けた退院患者数}}$

	4月		5月		6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28								
分子	24	21	19	16	18	17	21	22	21	12	13	16	22	24	21
分母	24	21	19	16	18	17	21	22	21	12	13	16	22	24	21
投与率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



予防抗菌薬投与について
手術室 池田科長より
コメントをいただきました！

手術後の合併症の一つである術後感染症は手術後の回復過程にも影響を及ぼすため予防がとても重要と考えられています。

術後感染症を予防するためCDCガイドラインに則り、手術を受ける全ての患者様に抗菌薬の投与を行っています。また、抗菌薬には様々な

種類があるため、手術に応じて最も効果的な抗菌薬を選択することも大切です。長時間の手術では、3時間毎に追加投与を行うことで抗菌薬の血中濃度を一定に保ち感染予防に努めています。

CDCガイドラインとは、米国の政府機関でもある疾病予防管理センターCDC(Centers for Disease Control and Prevention)が発表している感染対策に関するガイドラインのことです。

CDCは多くの最新の医学文献を網羅した上で、ガイドライン・勧告も数多く発表しています。医療関連感染起因菌の病原性や伝播経路が日米で大きく異なるとは考えられないので、日本における感染対策を検討する際にも、重要な資料として尊重するべきであると考えられています。

CDCガイドラインって？

次回は 「急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率」
「人工膝関節全置換術患者の早期リハビリテーション開始率」を取り上げます！！

おたのしみに・・・♪